

月 別 市 況

1 月

1月の取扱頭数は、牛10,314.5頭、豚27,586.5頭、1日平均取扱頭数は、牛543頭(前月比80.8%)、豚1,452頭(109.6%)であった。

牛の入荷は減少、豚は順調。

相場は、年明けの在庫補充では高値相場となったものの、在庫補充高値もあまり長くは続かず後半は需要も低下したことから、前月に比べて和牛・乳牛とも大きく下げた。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,990円、乳牛(B-3)1,285円であった。

豚生体(上規格)は、悪天候の影響による問屋筋の思惑買いなどあって、300円後半から500円台までの乱高下を繰り返したことから、平均価格は、437円(前月比49円安)と下げた。

輸入牛肉は、取扱量54.4トン(前月比142.0%)、平均価格は、746円で前月比319円安であった。

2 月

2月の取扱頭数は、牛10,986頭、豚27,151頭、1日平均取扱頭数は、牛578頭(前月比106.5%)、豚1,429頭(98.4%)であった。

入荷は牛は順調、豚は減少。

相場は、上旬まで高値水準を維持したが、業務用需要の冷え込みとともに、中旬以降は末端消費も停滞気味となり、和牛・乳牛とも下げた。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,937円、乳牛(B-3)1,289円であった。

豚生体(上規格)は、輸入物の出回り量が少なめだったことや特売用の手当も順調に入ったため高値推移となり、平均価格は、453円(前月比16円高)と上げた。

輸入牛肉は、取扱量519.9トン(前月比955.7%)、平均価格は、1,588円で前月比842円高であった。

3 月

3月の取扱頭数は、牛11,748.5頭、豚30,482.5頭、1日平均取扱頭数は、牛534頭(前月比92.4%)、豚1,386頭(97.0%)であった。

入荷は牛、豚とも減少。

相場は、時期的に良質物が少ないことに加え、不況による業務用需要の低下などが響いたことや、問屋筋の決算期前の在庫手控えなどから、和牛・乳牛とも弱含みとなった。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,931円、乳牛(B-3)1,282円であった。

豚生体(上規格)は、全国と畜頭数が割り込んで推移したことや、量販筋の特売手当がそこそこ入ったものの、年度末決算期とあって問屋筋の買い気が弱い状況となったことから、平均価格は、427円(前月比26円安)と下げた。

輸入牛肉は、取扱量769.1トン(前月比147.9%)、平均価格は、1,284円で前月比304円安であった。

4 月

4月の取扱頭数は、牛12,706頭、豚28,302.5頭、1日平均取扱頭数は、牛605頭(前月比113.3%)、豚1,348頭(97.3%)であった。

入荷は牛順調、豚は減少。

相場は、中旬を過ぎて安値展開となったものの、新年度入りとなった月明け以降、中旬まで高値推移となっていたことから、和牛は価格をやや上げた。一方、乳牛は入荷頭数が少ないものの堅調となった。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,950円、乳牛(B-3)1,353円であった。

豚生体(上規格)は、中旬を過ぎて連休用の手当が順調に動いた事や、全国出荷頭数が予測以上に少なめだったことなどが要因となって、平均価格は、452円(前月比25円高)と上げた。

輸入牛肉は、取扱量861.5トン(前月比112.0%)、平均価格は、1,112円で前月比172円安であった。

5 月

5月の取扱頭数は、牛11,101頭、豚26,006頭、1日平均取扱頭数は、牛584頭(前月比96.6%)、豚1,369頭(101.6%)であった。

入荷は牛減少、豚は横ばい。

相場は、長期の不況の影響による消費の伸び悩みに加え、量販店が輸入ものにシフトしたことなどもあって、全般的に安値展開になったことから、和牛・乳牛とも総じて軟調となった。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,954円、乳牛(B-3)1,300円であった。

豚生体(上規格)は、中旬以降、気候も暖かくなって末端消費が良好となった事や、下旬に全国と畜頭数が7万台を割り込んで推移するなど減少傾向が夏場に向けて如実に現れたことから、平均価格は、475円(前月比23円高)と上げた。

輸入牛肉は、取扱量81.2トン(前月比9.4%)、平均価格は、714円で前月比398円安であった。

6 月

6月の取扱頭数は、牛11,511頭、豚26,109頭、1日平均取扱頭数は、牛523頭(前月比89.5%)、豚1,187頭(86.7%)であった。

入荷は牛、豚とも減少。

相場は、需要の端境期に入ったことや梅雨入りもあって低調な展開となったものの、中元用の手当もあって、和牛、乳牛とも堅調となった。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,969円、乳牛(B-3)1,281円であった。

豚生体(上規格)は、前年同様に輸入物を含めて、全般的な供給量の不足から夏場の手当が早めに動き出した事や、中物以下の引き合いが強まり相場を押し上げたことなどが要因となって、平均価格は、576円(前月比101円高)と大きく上げた。

輸入牛肉は、取扱量59.8トン(前月比73.6%)、平均価格は、782円で前月比68円高であった。

7 月

7月の取扱頭数は、牛12,402.5頭、豚26,941頭、1日平均取扱頭数は、牛564頭(前月比107.8%)、豚1,225頭(103.2%)であった。

入荷は牛、豚とも順調。

相場は、全国出荷頭数が5%ほど減少したことに加え、関西方面への供給手当や中元手当などもあって、和牛、乳牛とも堅調となった。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,966円、乳牛(B-3)1,279円であった。

豚生体(上規格)は、下旬入りには量販店の注文も活発化し、600円台をつける高騰をみせたものの、中旬までは500円台前半で推移していたことから、平均価格は、557円(前月比19円安)と下げた。

輸入牛肉は、取扱量90.7トン(前月比151.7%)、平均価格は、659円で前月比123円安であった。

8 月

8月の取扱頭数は、牛11,482.5頭、豚24,552.5頭、1日平均取扱頭数は、牛574頭(前月比101.8%)、豚1,228頭(100.2%)であった。

入荷は牛、豚とも順調。

相場は、焼き肉需要から消費がやや上向いた事や、旧盆用の手当などもあって、和牛、乳牛とも堅調となった。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,961円、乳牛(B-3)1,316円であった。

豚生体(上規格)は、夏場の天候不順による末端需要の伸び悩みの影響や、中旬には400円台前半の展開となったことから、平均価格は、471円(前月比86円安)と大きく下げた。

輸入牛肉は、取扱量50.1トン(前月比55.2%)、平均価格は、702円で前月比43円高であった。

9 月

9月の取扱頭数は、牛12,092.5頭、豚27,507頭、1日平均取扱頭数は、牛605頭(前月比105.3%)、豚1,375頭(112.0%)であった。

入荷は牛、豚とも順調。

相場は、中旬以降、休日の手当が順調に入ったことや、末端需要も順調に動いたことから、和牛は価格を上げた。一方、乳牛は前月の値上がりの反動もあって価格を下げた。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,966円、乳牛(B-3)1,332円であった。

豚生体(上規格)は、月末に出荷頭数の増加傾向から400円台前半まで下落したものの、概ね堅調に推移したことから、平均価格は、504円(前月比33円高)と上げた。

輸入牛肉は、取扱量73.0トン(前月比145.7%)、平均価格は、636円で前月比66円安であった。

10 月

10月の取扱頭数は、牛13,317.5頭、豚30,261頭、1日平均取扱頭数は、牛605頭(前月比100.1%)、豚1,376頭(100.0%)であった。

入荷は牛、豚とも順調。

相場は、消費の低迷に加えて、夏場の天候不順による野菜高の影響や気温の高い日が続いたことで、鍋物需要が伸び悩んだことから、和牛、乳牛とも下げた。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,900円、乳牛(B-3)1,179円であった。

豚生体(上規格)は、前年のような安定基準価格割れで推移することはなかったものの、中旬過ぎから400円台を割り込んだ展開となったことから、平均価格は、407円(前月比97円安)と大きく下げた。

輸入牛肉は、取扱量70.6トン(前月比96.7%)、平均価格は、625円で前月比11円安であった。

11 月

11月の取扱頭数は、牛12,776.5頭、豚28,469頭、1日平均取扱頭数は、牛608頭(前月比100.5%)、豚1,356頭(98.6%)であった。

入荷は牛は横ばい、豚は減少。

相場は、野菜価格の高騰が続く鍋物需要が低迷した影響から例年ほど価格が上がらなかったものの、後半から寒さが戻ったことや需要期に入ったこともあって、和牛・乳牛とも上げた。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,952円、乳牛(B-3)1,252円であった。

豚生体(上規格)は、下旬には年末商戦用の手当も動いて買気が強まったため、400円台に回復したものの、中旬に安定基準価格(380円)を割り込んで推移したことから、平均価格は、392円(前月比15円安)と下げた。

輸入牛肉は、取扱量91.5トン(前月比129.6%)、平均価格は、520円で前月比105円安であった。

12 月

12月の取扱頭数は、牛15,793.5頭、豚30,119.5頭、1日平均取扱頭数は、牛632頭(前月比103.8%)、豚1,205頭(88.9%)であった。

入荷は、年末需要期に入り、牛は順調、豚は減少。

相場は、景気の長期低迷に加え、野菜の高騰による鍋物需要の伸び悩みから例年ほどの盛り上がりは見られず、和牛、乳牛とも前月に比べ上げたものの、前年に比べ大きく下げた。牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、(A-4)2,083円、乳牛(B-3)1,242円であった。

豚生体(上規格)は、前年に比べ後半盛り上がり欠ける相場展開となったものの、中旬以降、400円台で推移したことから、平均価格は、416円(前月比24円高)と上げた。

輸入牛肉は、取扱量103.3トン(前月比112.9%)、平均価格は、639円で前月比119円高であった。